加賀温泉駅全天候型広場施設条例

令和7年6月26日

条例第27号

(設置)

第1条 加賀温泉駅を利用する市民及び観光客等の利便性の向上及び交流の促進を図り、もって加賀温泉駅周辺の賑わい創出に資するため、全天候型広場施設を設置する。

(名称及び位置)

第2条 全天候型広場施設の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 加賀温泉駅全天候型広場施設

位置 加賀市作見町ヲ11番地1

(施設)

第3条 加賀温泉駅全天候型広場施設(以下「全天候型広場施設」という。)に次に掲げる施設を設置する。

(1) 待合交流スペース

(2) 温泉中央口広場

(事業)

第4条 全天候型広場施設は、第1条の目的達成に必要と認められる事業を行う。

(休業日)

第5条 全天候型広場施設は、無休とする。ただし、市長は、必要と認めるときは、臨時に休業することができる。

(使用の許可)

第6条 全天候型広場施設の全部又は一部を独占して使用しようとする者は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。使用を取り消し、又は許可に係る事項を変更するときも同様とする。ただし、当該許可に関する事項について道路法(昭和27年法律第180号)第24条の承認又は同法第32条第1項若しくは第3項の許可を受けたものはこの限りでない。

2 前項の許可の際、市長は、必要な条件を付することができる。

(使用の制限)

第7条 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、全天候型広場施設の使用を拒むことができる。

- (1) その使用が公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) その使用が施設、設備、器具等を損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
- (3) その使用が鉄道の運行又は乗降客の駅利用に支障が生じるおそれがあるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、管理上支障があると認められるとき。

(使用の取消し等)

第8条 市長は、第6条第1項の規定により使用の許可を受けた者(以下「独占使用者」という。)が次の各号のいずれかに該当するときは、当該許可に付した条件を変更し、若しくは使用を停止し、又は当該許可を取り消すことができる。

- (1) 虚偽の申請によって使用の許可を受けたとき。
- (2) 使用許可の条件に違反したとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、管理上支障があると認められるとき。

2 市長は、独占使用者が前項の規定による処分を受け、これによって損失を受けることがあっても、その補償の責めを負わない。

(目的外使用及び使用権譲渡の禁止)

第9条 独占使用者は、許可を受けた目的以外に全天候型広場施設を使用し、又はその権利を他に譲渡し、若しくは転貸してはならない。

(使用料)

第10条 独占使用者は、別表に定める使用料を前納しなければならない。ただし、市長が後納を認める場合は、この限りでない。

(使用料の減免)

第11条 市長は、特に必要があると認めるときは、使用料を減額し、又は免除することができる。

(使用料の不還付)

第12条 既納の使用料は、還付しない。ただし、市長が相当の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(原状回復の義務)

第13条 独占使用者は、全天候型広場施設の使用を終えたとき、又は第8条第1項の規定により使用を停止させられ、若しくは使用許可を取り消されたときは、速やかに原状に回復し、市長の確認を受けなければならない。

(損害賠償の義務)

第14条 全天候型広場施設を使用する者は、その責めに帰すべき事由により、施設、設備、器具等を損傷し、又は滅失したときは、相当金額をもって損害を賠償しなければならない。

(指定管理者による管理)

第15条 全天候型広場施設の管理は、法人その他の団体であって、市長が指定するもの(以下「指定管理者」という。)にこれを行わせることができる。

(指定管理者が行う業務)

第16条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 全天候型広場施設の利用の許可に関する業務
- (2) 全天候型広場施設の施設及び設備の維持管理に関する業務
- (3) 前2号に掲げるもののほか、全天候型広場施設の運営に関する事務のうち、市長のみの権限に属する事務を除く業務

2 前条の規定により全天候型広場施設の管理を指定管理者に行わせる場合における第5条から第9条まで、第13条及び第14条の規定の適用については、これらの規定中「市長」とあるのは「指定管理者」と、「市長は、必要と認めるときは、」とあるのは「指定管理者は、必要と認めるときは、市長の承認を得て」と、「使用」とあるのは「利用」と、「独占使用者」とあるのは「独占利用者」と、「使用許可」とあるのは「利用許可」と、「目的外使用及び使用権譲渡」とあるのは「目的外利用及び利用権譲渡」と読み替えるものとする。

(利用料金)

第17条 第15条の規定により指定管理者に管理を行わせる場合は、市長は、当該指定管理者に全天候型広場施設及び附属設備の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を当該指定管理者の収入として収受させるものとする。

- 2 前条第2項の規定により読み替えて適用する第10条に規定する独占利用者は、同条の規定にかかわらず指定管理者に利用料金を前納しなければならない。ただし、指定管理者が後納を認める場合は、この限りでない。
- 3 利用料金は、別表に掲げる額の範囲内において、指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定めるものとする。
- 4 指定管理者は、特に必要があると認めるときは、利用料金を減額し、又は免除することができる。

5 既納の利用料金は、還付しない。ただし、指定管理者が相当の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、規則で定める日から施行する。

別表(第10条関係)

使用料

区分		単位	金額	
待合交流スペース	全体利用	平日	1時間	5,000円
		休日		6,000円
	1階全面利用	平日	1時間	3,000円
		休日		3,600円
	1階部分利用	平日	10平方メートル	200円
		休日	につき1時間	240円
	2階全面利用	平日	1時間	2,000円
		休日		2,400円
温泉中央口広場A	全面利用	平日	1時間	3,000円
		休日		3,600円
	部分利用	平日	10平方メートル	100円
		休日	につき1時間	120円
温泉中央口広場B	全面利用	平日	1時間	1,100円
		休日		1,300円
	部分利用	平日	10平方メートル	100円
		休日	につき1時間	120円

備考

- 「休日」とは、加賀市の休日を定める条例(平成17年加賀市条例第2号)第1条第1項に規定する市の休日をいう。
- 冷暖房を使用する場合の待合交流スペースの使用料は、この表に定める金額の20パーセント分を加算した額とする。
- 使用時間に1時間未満の端数が生じた場合は、30分未満は切り捨て、30分以上は1時間に切り上げて使用料を計算する。

4 附属設備使用料は、規則で定める。